

◆平成29年度予算について◆

経理部経理課

平成29年度予算及び事業計画は、各会計単位からの要望等について、学内予算委員会にて慎重に審議されたのち、3月23日の学園理事会及び評議員会において承認されましたので、その概要をお知らせします。

本学はここ数年間で、将来を見据えての大型施設事業に多額の投資を行っており、平成29年度も、大学病院の耐震工事（6期目）および空調設備リニューアル工事やライナック棟新築工事、越谷病院は11月開設に向けての新棟建設工事等の多額の資金を要する計画があり、資金繰りにおいて借入金の計画により支払資金を調達する予定であります。このような厳しい財政状況を踏まえ、全学をあげて現在の問題点や課題を徹底的に洗い出すとともに、各部門の特徴を考慮した対応策を検討し収支改善を図っていかねばなりません。

この予算編成における収入の面では、外部資金獲得（補助金・寄付金等）へ向けて引き続き積極的な対応を行い、さらに3病院においては、現行の医療制度を適切に評価・分析しDPC制度に配慮した在院日数の短縮や病床稼働率の向上に努めるとともに、各種加算を積極的に取得していくなど、医療収入の増収に取り組むこととしました。

一方支出の面では、超過勤務の削減による人件費抑制や、医療経費において後発医薬品への切り替えの促進、医療材料の標準化、物品調達の適正化を引き続き行い、更なる経費削減に努めることとしています。

以上を勘案し編成しました平成29年度予算の基本金組入前当年度収支差額（事業活動収入－事業活動支出）は、7億54百万円を計上しています。この予算を達成するためには、これまでも増して収支改善の努力が必要となりますので、教職員の皆様にはこのような現状をご理解いただき、一人一人が常にコスト意識を持ち、さらなる経費削減の検討・実施にご協力をお願いいたします。

予算のポイント、事業計画概要及び事業活動収支予算・資金収支予算は次の通りです。

■ 予算のポイント

平成29年度予算は、平成28年9月に策定された第10次基本計画に基づき、財政基盤の強化を図りながら徹底した経費削減に努め、限りある財源をバランス良く配分できるよう配慮しました。

各会計単位の重点施策は次のとおりです。

1) 医科大学関連

(1) 学務関係

①医学部

高度化・細分化する医学・医療や社会のニーズに対応した6年間一貫のクサビ型教育カリキュラムを展開しており、「医学教育モデル・コア・カリキュラム」を基本としたカリキュラム構成に基づき、効果的な教育体制を構築するための関係経費を計上しました。主な経費としては、一般的な経費以外に学生の海外研修経費として14百万円、がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン経費として7百万円、医師国家試験対策としての短期集中合宿（5、6年生）の経費として8百万円を計上しました。また、出席管理システムを導入し講義の出席確認業務の効率を図るための経費として7百万円を計上しました。

②看護学部

高度な臨床看護実践能力が修得可能なカリキュラム編成となっており、より効果的な教育体制を構築するための関係経費を計上しました。主な経費としては、臨床実習等の実施経費として8百万円、看護師・保健師国家試験対策としての模擬試験、特別講義等の経費として4百万円、学生の海外研修経費として2百万円、成績管理システムのカスタマイズ経費として2百万円を計上しました。また、看護学部開設10周年記念事業経費として6百万円を計上しました。

(2) 看護師確保対策

全国的な看護師不足が広がる中、本学においても看護師確保が困難な状況であり、深刻な問題となっており、平成29年度についても、これまで以上に全学を挙げて積極的に募集活動を行い、大学病院・越谷病院・日光医療センターの7対1看護体制の維持及び患者サービスの向上を図ることとし10百万円を計上しました。

(3) 図書館入退館ゲートシステムの更新

ネームカード及び学生証のIC化に伴い、入退館一体型のフラッパーゲートを導入し入退館管理及びセキュリティ強化のための経費として7百万円を計上しました。

(4) 教育環境の整備

教育環境整備として30周年記念館照明器具更新経費として10百万円を計上しました。今後の省エネ対策も加味し、現行の蛍光灯から計画的にLED化を進めていきます。今回は、使用頻度の高いセミナー室を中心にLED照明を導入し学習環境の整備を行います。また、LED化をすることにより電気料金の削減が可能となります。

2) 大学病院関連

(1) 経営基盤の強化(医療収入と医療経費)

平成29年度は診療報酬改定が行われない年であることから、自助努力によりいかにして増収へ繋げていくかがポイントになります。

当院では、この厳しい経営環境を乗り越えるために、新たに設けられた経営情報分析室(平成29年4月設置)を中心に、現行の医療制度を適切に評価・分析し、7対1看護体制の維持とDPC制度に配慮した在院日数の短縮や病床稼働率の維持、患者一人当たり単価のアップ等を図るとともに、各種加算を積極的に獲得していくなど、全部署を挙げて医療収入の増収に取り組むこととしました。

一方で、医療経費においては、後発医薬品への積極的な切り替えの促進を行うとともに医療材料の安価な同種同効品への切り替え等によるコストダウンおよび物品調達の適正化に努め、医療経費率を平成28年度見込みに対して1.7%縮減の45.8%とし、医療収支の改善(医療粗利益の増加)を図る予算編成としました。

(2) 診療体制の整備

当院では、地域の中核病院として安全でより質の高い医療を提供するため、毎年診療体制の充実に努めています。今年度においても更なる患者サービスの向上を目指し、引き続き診療体制の整備充実に努めるべく予算配分を行いました。

①材料部移転に伴う機器備品の更新

大学病院本館再整備における、手術室増設(平成30年度予定)に伴う材料部移転による機器備品の更新経費として3億80百万円を計上しました。

②院内助産所新設に伴う設備機器の整備

地域における安全・安心・快適なお産の場を確保するとともに、正常産を助産師が担うことで、産科医師の負担軽減を図ることを目的として、院内助産所を新設することとし、それに伴う什器・機器備品の整備費用として90百万円を計上しました。

③アンギオ(血管撮影)CT装置の導入

アンギオ(血管撮影)CT装置の導入費用として2億85百万円を計上しました。

④PET-CT装置の更新

PET-CT装置(12年経過)の更新経費2億10百万円(リース契約)のうち、平成29年度支払額10百万円を計上しました。

(3) 施設関係工事

①本館耐震工事・空調設備リニューアル

大学病院本館の耐震強化を図るための本館耐震工事が進捗しており、平成29年度は8ヶ年計画の6年目に当たります。工事費用および耐震設計、監理費用として5億12百万円を計上しました。

また、耐震工事に合わせて、本館病棟の空調リニューアル工事および設備更新工事を同時に実施することにより、病棟移動（引越し）を最小限にし、患者様への影響や病棟スタッフへの負担を軽減することができるとともに、工期およびコストの削減も図れることとなります。平成29年度は空調設備リニューアル工事費用および設備更新工事費用として合わせて4億71百万円を計上しました。

なお、当該耐震工事は、栃木県医療施設耐震化事業費補助対象となるため、補助金収入として2億18百万円を併せて計上しています。

②大学病院本館再整備に係る工事

大学病院本館再整備における材料部移転工事費用および設計、監理費用として9億20百万円計上しました。また、院内助産所整備工事費用および設計、監理費用として4億40百万円計上しました。

③ライナック棟新築工事費用・設計監理費用

ライナック棟新築工事費用および設計、監理費用として8億15百万円を計上しました。

(4) 栃木県ドクターヘリ事業

当院を基地病院として開始された栃木県ドクターヘリ事業は、平成22年1月の導入から7年目を迎え順調に運航稼働しています。加えて広域連携協定（群馬県・茨城県とのドクターヘリの相互運用）が締結されたことにより、より効率的な運航が可能となり、北関東3県の救急医療体制の強化が図られています。平成29年度も引き続き効率的な運航を可能とするために、ドクターヘリ運航委託料2億28百万円、その他必要経費約23百万円を計上しました。

なお、国と県からのドクターヘリ運営費補助金2億28百万円も併せて計上しています。

3) 越谷病院関連

(1) 経営基盤の強化・安定化

埼玉県東部地域医療の基幹病院として、引き続き診療体制の強化・安定化に努めます。

また、現行の7対1看護体制の維持、平均在院日数の短縮、診療報酬に係る加算、管理料等の新規取得並びに包括医療制度（DPC）への対応、専門医療（自費診療）の推進、安定した病床稼働率の維持を図り、積極的に医療収入の増額を見込み、経営基盤の充実を図ることを目的に予算編成を行いました。

編成内容として、平成29年度の医療収入は、入院単価：68,800円（28年度見込比+1.3%）、外来単価：17,100円（同+4.9%）とし、また、入院患者数については年間病床稼働率95.3%（同△0.6%）の1日689名（同△4.3名）、外来患者数は1日1,720名（同+1.3名）としました。

なお、医療経費においては、後発医薬品への切り替え強化、医療材料の標準化を図り、物品調達の適正化や見直しにも引き続き力を注ぐこととし、医療経費率は38.5%（28年度見込比△1.5%）としました。

(2) 医療機能充実のための新棟建設（継続）及び既存棟改修

平成29年11月開設を目指し、平成29年度に「新棟建設工事」として77億84百万円計上するとともに、「新棟計画に伴う事前改修工事他」として9億円、「経年劣化による更新工事」として1億円を計上しました。

(3) 新棟開設に伴う設備機器の整備

新棟開設に伴い、移転・増設する部署における機器・什器備品等の整備として、2億15百万円を計上しました。

4) 日光医療センター関連

(1) 経営基盤の強化と安定化

地域社会の信頼に応える基幹病院として、高度で良質な医療の提供と、県北西部の地域医療機関との連携強化を図りながら、診療体制の維持・強化に努めます。また、現行の看護体制7対1の維持、DPC制度に配慮した在院日数の短縮と病床稼働率の向上に努め、地域包括ケア病床を有効に活用し地域の医療ニーズに対応します。

MRIの増設、透析棟の新設による透析ベッド増加が期初から貢献することに加え、平成28年4月の診療報酬改定に対応したリハビリテーション料への対応、退院支援加算1・看護職員夜間1.6対1配置加算・認知症ケア加算2の取得、栄養食事指導件数の増加、食堂加算の取得の他、平成29年度の機能評価係数向上に資する病院指標の公表、災害拠点病院指定による地域医療指数増加等への取組により平成29年度の医療収入を、入院単価50,500円（平成28年度見込比+0.02%）、外来単価13,300円（同+10.28%）とし、入院患者数については年間平均1日当たり179.0名（同+2.1名）で年間病床稼働率90.0%（同+1.1%）、外来患者数については年間平均1日当たり403.0名（同+25.7名）を目標としました。

(2) 経営の効率化と合理化

医療経費においては、継続的に後発医薬品への積極的な切り替え促進を行う事はもとより、医療材料についても、同種同効品への切り替え、納入価格交渉及び新規採用時の相見積の徹底といったコストダウンを図ることで、更なる経費削減に努めることとし、平成29年度の医療経費率を平成28年度見込26.4%から0.1%増の26.5%としました。

(3) 診療体制の整備

①医療機器・設備の整備・更新

医療機器については、輸液ポンプ60台・シリンジポンプ50台のリース期間満了に伴う更新、救急医療機器充実のため補助循環用バルーン駆動装置及び除細動器の購入を予定したことから、診療機器・検査機器の新規・代替購入費は昨年より20百万円減額した1億30百万円としました。その他電子カルテ端末増設、栄養厨房設備整備、三依診療所医事コンピュータ更新、電子カルテサーバ拡張等で医療機器・設備関係予算は合計で2億22百万円としました。

②施設関係の整備・修理

病院機能を維持する上で必須の施設整備費としては、受水槽の更新20百万円、放射線部エアコン更新12百万円、火報盤・スプリンクラーポンプユニット・消火栓ポンプユニットの更新計19百万円、2号館2階トイレ改修等を計上しました。また、継続的事業として院内サイン更新、ナースコール更新を予定しましたが、今期さらに、病児・病後児保育の開始に向け看護師宿舎の改修を計画しました。

また、経年劣化に対応するための施設費及び修理費として45百万円を見込み施設関係の整備・修理関係予算として合計1億20百万円を計上しました。

5) 看護専門学校（壬生校）関連

(1) 教学関係

①実習経費

主な経費として、領域別看護学臨床実習及び体験学習等に要する実習経費として3百万円、看護師国家試験対策の一環として実施している模擬試験のうち、外部業者2社（学校負担分）の受験料1百万円を計上しました。また、本校の教育目的・目標に沿ったカリキュラム構成に基づき、より効果的な教育体制を構築するための費用として一般経費を計上しました。この他、専任教員の資質向上への取組として、研修、学会参加、研究活動費用を1百万円計上しました。

(2) 施設及び設備の充実

本校は、校舎の老朽化等に備え、適切なメンテナンス体制を整備しておかなければなりません。学生の教育体制に支障を来さぬよう、平成29年度も引続き計画的にメンテナンスを実施していきます。そのための費用として、分電盤の更新工事費用を3百万円計上しました。

また、学習環境の充実及び学習成果の向上を図るため、校舎1階・2階の全エリアに情報ネットワーク（無線LAN）を整備する費用として9百万円を計上しました。

(3) 学生募集活動

少子化による18歳人口の減少及び2018年問題を踏まえ、県内外の受験生を幅広く募集し、一人でも多くの優秀な学生の確保は本校最大の課題であり、入学定員を満たすための募集戦略を展開していく必要があります。そのための経費として、パンフレット、ポスターの制作費として3百万円、Webサイト及び専門誌への情報掲載費用として1百万円の計4百万円を計上しました。

6) 看護専門学校（三郷校）関連

(1) 教学関係

①実習経費

看護実践能力の向上を図るため、カリキュラム編成された第3学年の臨地実習が平成29年度に行われます。このため、3学年分の実習経費として2百万円を計上しました。

②宿泊学習

入学直後に宿泊学習をとおして人を理解し人間関係構築について学ぶことは、新入生同士の仲間づくりクラスづくりに繋がると共に看護実践の基盤となる重要なものであります。また、獨協医科大学施設、日光医療センターの見学を行い、本学に対する帰属意識を高めることを目的として実施経費として1百万円を計上しました。

③外部講師による特別講演

看護学生は1年次から病院や地域で臨地実習を行いますが、その時の患者様や家族、他職種の方々との接遇の良し悪しは看護の過程や結果に影響を及ぼします。また、接遇は一時的な教育では身につかないため、1年次から卒業まで継続して教育していくことが必要になります。以上の観点から、外部講師を招いて接遇に関する特別講演実施に係る経費として1百万円を計上しました。

(2) 管理運営費関係

学生募集活動

本校の知名度向上及び多くの受験生獲得を目的に県内・外への幅広い募集活動を行います。実施経費としてパンフレット・募集要項の作成費用の2百万円を計上しました。

(3) 設備関係

図書室の充実

図書室の充実を目的として完成年度を迎えるまでの、平成28年度・平成29年度の2ヶ年計画で年間1,000冊の図書を購入します。今年度も昨年度同様に図書購入費3百万円・図書装備外注費1百万円を計上しました。

■ 事業計画概要

(単位: 百万円)

事業名	事業内容	29年度予算
《医科大学》 1. 教学関係 ① 医学部 1) 全国共用試験 2) 早期医学・地域医療体験 3) 学生の海外研修 4) 医師国家試験対策合宿 5) 国際交流等の拡充・充実 6) がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 7) 国際交流推進 8) 出席管理システム導入 ② 看護学部 1) 実習関係 2) 看護学部開設10周年記念事業 3) 国家試験対策 4) 学生海外研修 5) 成績管理システム更新・保守(学部) 2. 施設・設備関係 1) 臨床医学棟機械室空調機・還気・排気機更新 2) 大学建物維持保全整備 3) 30周年記念館屋上防水(2/2期) 4) 土地購入 5) 30周年記念館照明器具更新 6) 臨床医学棟照明器具更新(1/2期) 7) 関記念学生館退寮後空調機更新 工事 8) 看護学部棟 2 階講義室増設に伴う改修工事 9) 教育研究・実習用機器備品の 10) 図書 3. 管理運営関係 1) 看護師確保対策 2) 図書館入退館ゲート更新 3) 遺体移送車購入及び改造 4) 施設課システム改修 5) ナーシングスキル日本語版導入	1) OSCE: 模擬患者を相手とする実技試験の実施 CBT: コンピューターによる医学知識試験の実施 2) 期間集中型科目「コミュニティヘルスインターンシップ」「アドバンスドコミュニティヘルスインターンシップ」の開設、本学附属病院や学外の福祉施設等での体験学習の実施 3) 学内試験選抜の学生の海外大学病院等における約2週間の見学実習の実施 4) 5・6年生を対象に、卒業試験・医師国家試験の合格に向けて、短期集中合宿を実施 5) 国際交流の拡充や支援、海外大学との提携等の検討、海外視察の実施 6) 本学を含む国公立8大学の共同申請による「国際協力型がん臨床指導者養成拠点」に参加 7) 海外の大学・教育研究機関等との交流、国際協力事業の推進 8) 講義毎の出席確認を出席票による記入方式からICカード認証方式に変更 1) ふれあい実習、基礎看護学実習Ⅰ～Ⅱ、健康看護支援・健康障害看護援助論実習Ⅰ～Ⅶ、健康看護支援論実習(公衆衛生)、総合実習の実施 2) 看護学部開設10周年記念式典・記念講演・記念祝賀会の挙行、記念誌の発刊 3) 国家試験対策コーナー等の環境整備、模擬試験・特別講義等の実施 4) 海外(フィリピン)での1週間程度の実習の実施 5) 看護学部における成績管理システムのカスタマイズと保守契約締結 1) 処置実験室・電顕室・恒温無菌室系統の機器更新 2) 建物維持保全整備 3) 屋上防水層の修繕工事 4) 地主要請による借地買収 5) LED照明器具への更新工事 6) LED照明器具への更新工事 7) 空調機の更新 8) 黒板、AV機器の新設及び洗面台の撤去 9) 教育研究・実習用機器備品の整備充実 10) 教育研究用図書の整備充実 1) 合同病院説明会への参加、就職説明会や病院見学会の実施 2) 入退館一体型のフラッパーゲートの導入、ネームカード・学生証のIC化に対応 3) 遺体移送車の購入及び、遺体移送車に架台を設置し、寝台型霊柩車へと改造 4) 減価償却システムや支払予算表システムのカスタマイズの実施 5) 看護基礎から臨床まで統一された「看護基準」を常時参照可能な環境の提供	4. 3 1. 8 13. 5 8. 3 2. 7 6. 8 9. 0 6. 5 8. 2 6. 3 4. 0 2. 3 2. 8 105. 0 95. 0 30. 0 20. 0 10. 0 10. 0 10. 0 10. 0 418. 1 42. 6 10. 3 6. 6 5. 8 5. 0 4. 5
《大学病院》 1. 医療活動関係 1) 統合医療情報システム 2) 栃木県ドクターヘリ事業 3) 院内助産所新設に伴う機器の整備他 4) 医療安全推進事業 2. 施設・設備関係 1) 中央材料部移転工事 2) ライナック棟新築工事 3) 本館耐震工事(6/7期) 4) 院内助産所整備工事 5) 本館病棟空調設備リニューアル工事(3/4期)	1) 電子カルテシステム、PACSシステムの維持管理 2) ドクターヘリ運航業務の委託他 3) 院内助産所新設に伴う機器備品の購入他 4) 講演会などの啓蒙活動、医療事故報告の管理・分析、リスクマネジメント業務の推進他 1) 移転工事(移転工事870. 0、設計・監理費50. 0) 2) 新築工事(新築工事800. 0、設計・監理費15. 0) 3) 耐震補強工事(耐震工事480. 0、設計・監理費31. 5) 4) 整備工事(整備工事380. 0、設計・監理費60. 0) 5) 空調設備更新工事(更新工事300. 0、設計・監理費11. 0)	549. 5 250. 6 43. 0 10. 2 920. 0 815. 0 511. 5 440. 0 311. 0

6)医療設備機器整備 7)材料部移転に伴う設備機器更新 8)アンギオ(血管撮影)CT装置導入 9)PET-CT装置更新 10)臨床研修機器整備	6)診療機器、検査機器の新規・代替購入 7)材料部移転に伴う機器備品および什器の購入 8)アンギオ(血管撮影)CT装置の購入 9)PET-CT装置の経年劣化による更新 10)臨床研修用機器、OA機器の購入	600.0 380.0 285.0 210.0 50.0
《越谷病院》 1. 医療活動関係 1)医療情報システムの充実 2)薬剤SPD業務委託 3)新棟カーテン購入 2. 施設・設備関係 1)新棟建設工事及び関連工事 2)中央監視装置更新(4/4期) 3)瓦葺根柢補修工事 4)新棟設備機器整備 5)オーダリングシステム更新 6)ベッド及びベッド回り備品更新 7)医療設備機器整備 8)放射線機器整備	1)電子カルテシステムの維持・管理 2)薬剤配送及び補助委託業務 3)新棟開院に伴うカーテンの購入 1)新棟建設工事及び関連工事 (事前改修工事1,000.0、建設工事7,784.0、設計料164.7、LAN工事120.0、ナースコールシステムサーバー更新29.7、音響システム工事25.0、TV会議システム工事10.0、内線電話設置工事4.5) 2)中央監視装置更新工事 3)補修工事(外壁補修・塗装工事45.0、屋上防水工事12.5) 4)新棟開院に伴う機器及び什器備品等の整備 5)オーダリングシステムのリース機器導入及び更新 6)ベッド及びベッド回り備品更新 7)医療設備の購入、経年劣化による代替購入、最新医療機器の購入 8)デジタルガンマカメラ他更新	595.0 101.1 60.7 9137.9 60.0 57.5 2,800.0 1,138.3 682.1 250.0 250.0
《日光医療センター》 1. 医療活動関係 1)業務の外注化 2)医療情報システムの充実 3)電子カルテシステムの改定 4)診療報酬改定に伴うシステム変更 2. 施設・設備関係 1)受水槽更新工事 2)放射線部エアコン更新工事 3)火報盤更新工事 4)ナースコール更新工事 5)医療設備機器整備 6)輸液ポンプ・シリンジポンプ更新 7)病院群輪番制病院設備整備補助事業	1)施設管理、医事業務、検体検査、給食、情報処理業務の外部委託 2)電子カルテシステム及び部門システムの維持・管理 3)看護管理及び薬剤管理システムの変更 4)医事システム及び電子カルテシステム等の変更作業 1)受水槽更新工事 2)放射線部パッケージエアコン更新工事 3)火報盤更新工事 4)ナースコール更新工事 5)診療機器、検査機器の新規・代替購入 6)輸液ポンプ・シリンジポンプの更新 7)補助循環用バルーンポンプ駆動装置及び助細動器の購入	255.8 153.3 3.7 3.2 20.0 12.2 10.8 9.1 130.0 39.2 30.2
《看護専門学校壬生校》 1. 教学関係 1)実習関係 2)専任教員の研修・研究 3)全国模擬試験 2. 施設・設備関係 1)無線環境整備(1F～2F) 2)分電盤更新工事 3. 管理運営関係 1)看護学生募集パンフレット制作	1)各領域において3週間1クールとして病院や施設での実習を実施 2)学内外の研修会や研究会への参加 3)看護師国家試験の模擬試験の実施 1)学内に無線LANを導入 2)IL-分電盤の更新工事 1)パンフレット・ポスターの作成	3.3 1.4 1.1 9.5 2.8 2.5
《看護専門学校三郷校》 1. 教学関係 1)実習関係 2)外部講師による特別講演の実施 3)宿泊学習の実施 2. 施設・設備関係 1)図書の購入 3. 管理運営関係 1)学校パンフレット制作	1)基礎Ⅰ、小児Ⅰ、老年Ⅰ・Ⅱ、成人、小児Ⅱ、精神、母性、在宅、統合実習の実施 2)外部講師による接遇教育の実施 3)宿泊学習や医科大学施設等の見学の実施 1)年次計画による図書(1,000冊)の購入 1)パンフレット・ポスターや入学試験募集要項の作成	1.5 1.0 0.7 3.0 2.3

■ 事業活動収支予算の概要

平成29年度予算につきまして、事業活動収支予算書より説明いたします。(資料1)

「事業活動収支計算書」は企業会計という損益計算書に相当するものです。経常的な収支(1.教育活動収支と2.教育活動外収支)と臨時的な収支(3.特別収支)に区分される「区分経理」が導入されたことにより、経常的な収支バランスと臨時的な収支バランスが区分して把握できるようになっています。したがって、教育活動収支差額と教育外収支差額を合計したものが、**経常収支差額**となります。

1. 教育活動収支

【 教育活動収入の部 】

● 学生生徒等納付金

医学部、大学院医学研究科、看護学部、大学院看護学研究科、助産学専攻科、看護専門学校壬生校、看護専門学校三郷校の学生生徒納付金収入として、総額で53億77百万円を計上しました。

● 寄付金

厳しい社会経済情勢を反映し今後も増収は難しい状況ですが、受配者指定寄付制度や免税措置等の寄付者へのメリットをアピールし、積極的に寄付金募集活動に取り組むこととし、12億4百万円を計上しました。

● 経常費等補助金

経常費補助金は、20億91百万円を見込んでいます。また、その他主な補助金として、臨床研修費等補助金(大学病院：99百万円、越谷病院：32百万円)大学病院の総合周産期母子医療センター運営費等補助金93百万円、とちぎ子ども医療センター運営費補助金96百万円、ドクターヘリ運営費等補助金2億28百万円、救命救急センター運営費補助金(大学病院：57百万円、越谷病院：57百万円)等を計上しました。総額で29億25百万円を計上しました。

● 医療収入

3病院(大学病院・越谷病院・日光医療センター)とともに7対1看護体制を維持し、DPC制度における適切なコーディングへの対応と高水準な病床稼働率を保つことにより平成28年度見込みを上回る予算を計上しました。また、入院収入、外来収入ともに単価アップにより増収予算を計上しました。

- ・大学病院 : 445億40百万円
- ・越谷病院 : 265億19百万円
- ・日光医療センター : 50億 8百万円

3病院総額で、760億67百万円を計上しました。

【 教育活動支出の部 】

● 人件費

教員人件費は、90億36百万円、職員人件費は、236億69百万円、退職給与引当金繰入額は19億11百万円を計上しました。総額で346億16百万円を計上しました。

● 教育研究経費

教育研究経費は、482億50百万円を計上しました。

このうち医療経費は、総額で310億76百万円を計上しました。

- ・大学病院 : 196億98百万円(医療経費率45.8%)
- ・越谷病院 : 100億74百万円(医療経費率38.5%)
- ・日光医療センター : 13億 4百万円(医療経費率26.5%)

また、一般経費は、106億45百万円を計上しました。減価償却費は、65億29百万円を計上しています。

●管理経費

管理経費は、２９億７６百万円を計上しました。

このうち一般経費は、２４億２８百万円を計上しました。減価償却費は５億４８百万円を計上しています。

●徴収不能額等

徴収不能額引当金繰入額は、９７百万円を計上しました。

２．教育活動外収支

【 教育活動外収入の部 】

●受取利息・配当金

受取利息として、５０百万円を計上しました。

【 教育活動外支出の部 】

●借入金等利息

借入金等利息は、５０百万円を計上しました。

３．特別収支

【 特別収入の部 】

●その他の特別収入

施設設備補助金として３億円を計上しました。主な補助金として、大学病院の医療施設耐震化事業補助金２億１８百万円を計上しました。

【 特別支出の部 】

●資産処分差額

資産処分差額は、１億２５百万円を計上しました。

●法人負担金

法人負担金は、３億１４百万円を計上しました。

以上、３つの活動区分の合計の事業活動収入は、８７２億２３百万円を計上しました。一方、事業活動支出は８６４億６９百万円を計上しました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は、７億５４百万円の収入超過（黒字）となる予算を組んでいます。なお、事業活動収支差額比率は０．８６％です。また、内部留保額（基本金組入前当年度収支差額＋減価償却額＋資産処分差額）は、７９億５６百万円となる見込みです。

■ 資金収支予算の概要

次に、資金収支予算について説明します。(資料2)

資金収支予算は平成29年度の収入及び支出に関わるすべての資金を計上しています。以下、事業活動収支予算書と重複するものを除いて主な項目について説明します。

【 収入の部 】

● 借入金等収入

施設設備資金（越谷病院新棟建設工事費）として長期借入金60億円を計上しました。

【 支出の部 】

● 借入金返済支出

借入金返済支出は、市中金融機関からの長期借入金の約定償還18億円を計上しました。

● 施設関係支出

施設関係支出は、大学病院の中央材料部移転工事、ライナック棟新築工事、越谷病院の新棟建設工事等の大型事業が控えており、総額131億84百万円を計上しました。

● 設備関係支出

設備関係支出は、大学病院の中央材料部移転に伴う設備機器の更新、越谷病院の新棟開設に伴う機器・什器備品の整備等を予定しており、78億31百万円を計上しました。

● 資産運用支出

資産運用支出は、前年と同額の60億円を計上しました。

その結果、翌年度繰越支払資金は76億92百万円となる見込みです。

なお、獨協学園の事業計画および予算については、獨協学園のホームページ<http://www.dac.ac.jp/>をご覧ください。

平成29年度事業活動収支予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

科 目		年 度	平成29年度 予 算 額	備考
教育活動収支	収入	学 生 生 徒 等 納 付 金	5,377	
		手 数 料	196	
		寄 付 金	1,204	
		経 常 費 等 補 助 金	2,925	
		(国 庫 補 助 金 収 入)	(2,347)	
		(地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入)	(576)	
		(そ の 他 補 助 金 収 入)	(2)	
		付 随 事 業 収 入	398	
		医 療 収 入	76,067	
	雑 収 入	647		
	教 育 活 動 収 入 計 A	86,814		
	支出	人 件 費	34,616	
		教 育 研 究 経 費	48,250	
		(医 療 経 費)	(31,076)	
		(一 般 経 費)	(10,645)	
		(減 価 償 却 費)	(6,529)	
		管 理 経 費	2,976	
		(一 般 経 費)	(2,428)	
		(減 価 償 却 費)	(548)	
徴 収 不 能 額 等		97		
教 育 活 動 支 出 計 B	85,939			
教 育 活 動 収 支 差 額 C(A-B)		875		
教育活動外収支	収入	受 取 利 息 ・ 配 当 金	50	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 収 入	0	
		教 育 活 動 外 収 入 計 D	50	
	支出	借 入 金 等 利 息	50	
		そ の 他 の 教 育 活 動 外 支 出	0	
		教 育 活 動 外 支 出 計 E	50	
教 育 活 動 外 収 支 差 額 F(D-E)		0		
経 常 収 支 差 額 G(C+F)		875		
特別収支	収入	資 産 売 却 差 額	0	
		そ の 他 の 特 別 収 入	349	
		(う ち 現 物 寄 付 金)	(41)	
		(う ち 施 設 設 備 補 助 金 ・ 国 庫)	(59)	
		(う ち 施 設 設 備 補 助 金 ・ 地 公 体)	(241)	
		(う ち 過 年 度 修 正 額)	(8)	
	支出	法 人 負 担 金 収 入	10	
		特 別 収 入 計 H	359	
		資 産 処 分 差 額	125	
		そ の 他 の 特 別 支 出	1	
		法 人 負 担 金 支 出	314	
特 別 支 出 計 I		440		
特 別 収 支 差 額 J(H-I)		△ 81		
(予 備 費) K		40		
基本金組入前当年度収支差額 L(C+F+J-K)		754		
基本金組入額合計 M		△ 7,676		
当年度収支差額 N(L+M)		△ 6,922		
前年度繰越収支差額 O		△ 91,687		
基本金取崩額 P		0		
翌年度繰越収支差額 Q(N+O+P)		△ 98,609		
参 考	事業活動収入計 (A+D+H)		87,223	
	事業活動支出計 (B+E+I+K)		86,469	

平成 2 9 年度資金収支予算書

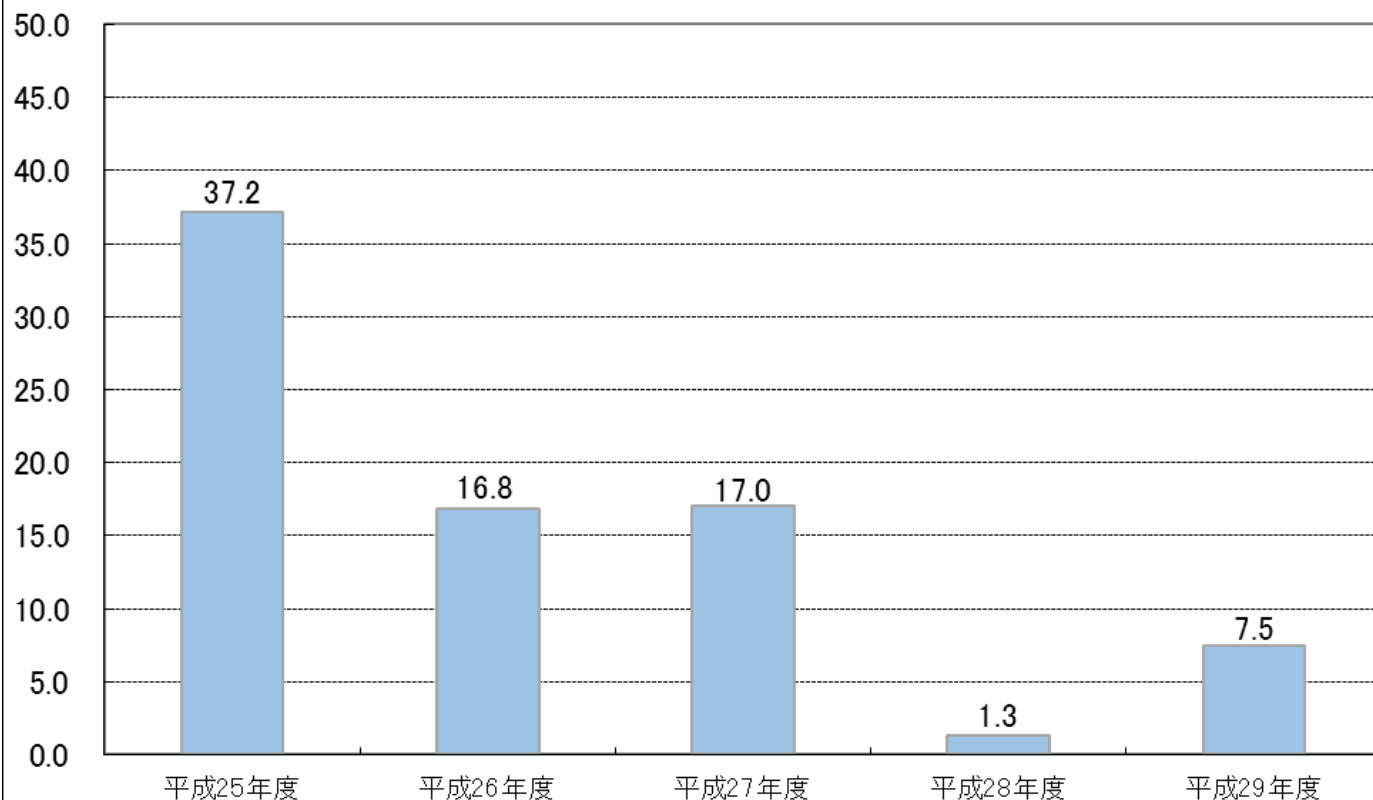
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(単位：百万円)

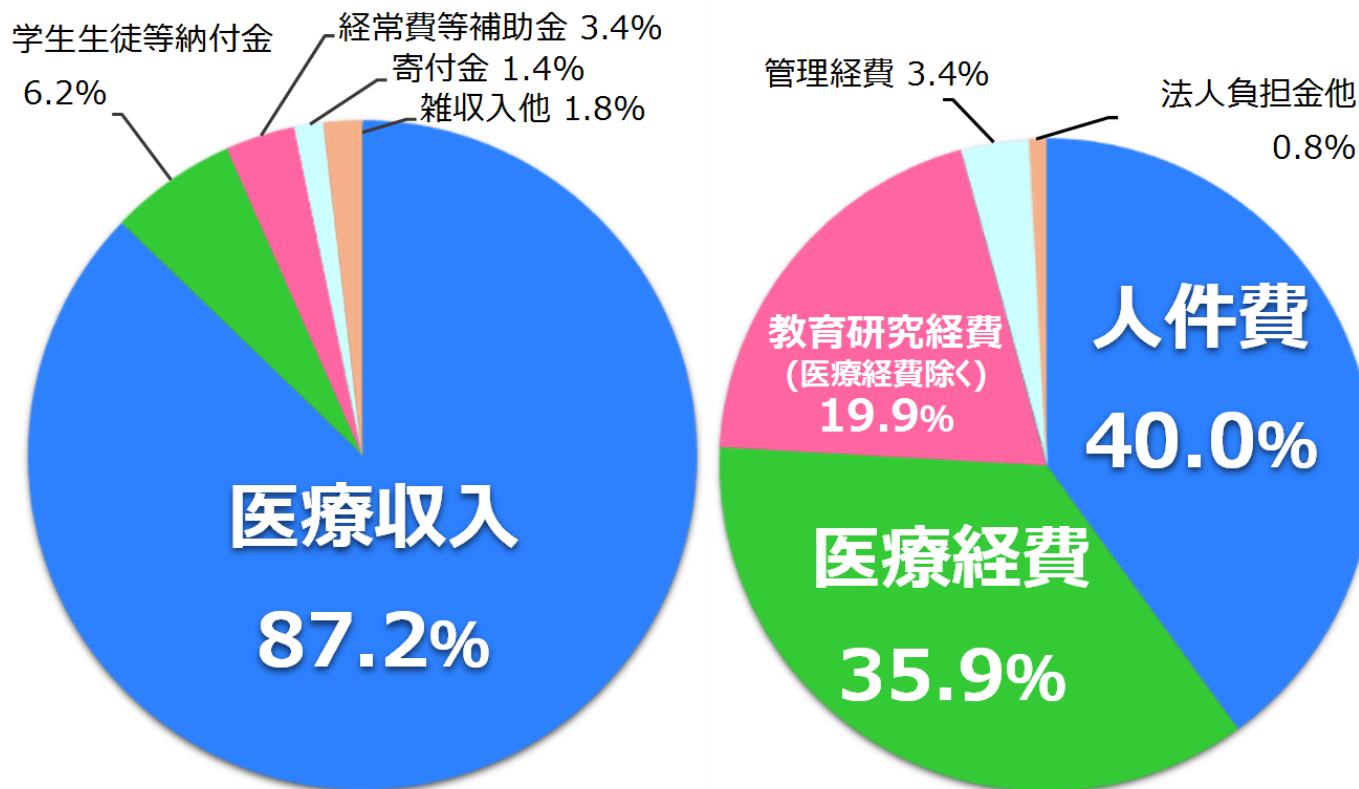
年 度		平成29年度 予 算 額	備考
科 目			
収入 の 部	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	5,377	
	手 数 料 収 入	196	
	寄 付 金 収 入	1,204	
	補 助 金 収 入	3,225	
	(国 庫 補 助 金 収 入)	(2,406)	
	(地 方 公 共 団 体 補 助 金 収 入)	(817)	
	(そ の 他 補 助 金 収 入)	(2)	
	資 産 売 却 収 入	0	
	付 随 事 業 ・ 収 益 事 業 収 入	398	
	医 療 収 入	76,067	
	受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	50	
	雑 収 入	654	
	借 入 金 等 収 入	6,000	
	前 受 金 収 入	1,460	
	そ の 他 の 収 入	20,255	
	資 金 収 入 調 整 勘 定 (△)	△ 15,886	
	法 人 負 担 金 収 入	10	
	前 年 度 繰 越 支 払 資 金	10,870	
合 計		109,880	
支 出 の 部	人 件 費 支 出	33,623	
	教 育 研 究 経 費 支 出	41,721	
	管 理 経 費 支 出	2,428	
	借 入 金 等 利 息 支 出	50	
	借 入 金 等 返 済 支 出	1,800	
	施 設 関 係 支 出	13,184	
	設 備 関 係 支 出	7,831	
	資 産 運 用 支 出	6,000	
	そ の 他 の 支 出	12,904	
	予 備 費	40	
	資 金 支 出 調 整 勘 定 (△)	△ 17,707	
	法 人 負 担 金 支 出	314	
	翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	7,692	
合 計		109,880	

単位: 億円

基本金組入前当年度収支差額推移表



平成29年度予算 事業活動収支の科目別構成比

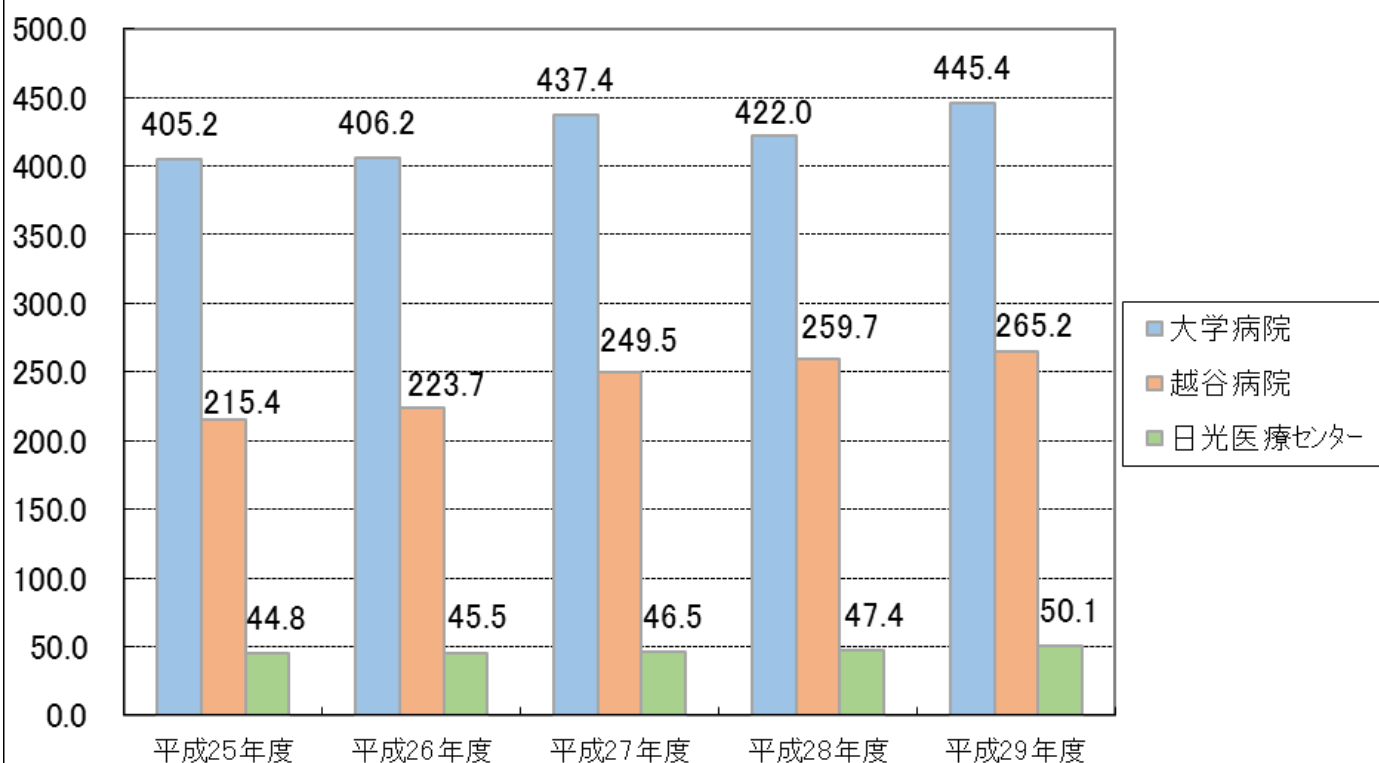


事業活動収入 87,223百万円

事業活動支出 86,469百万円

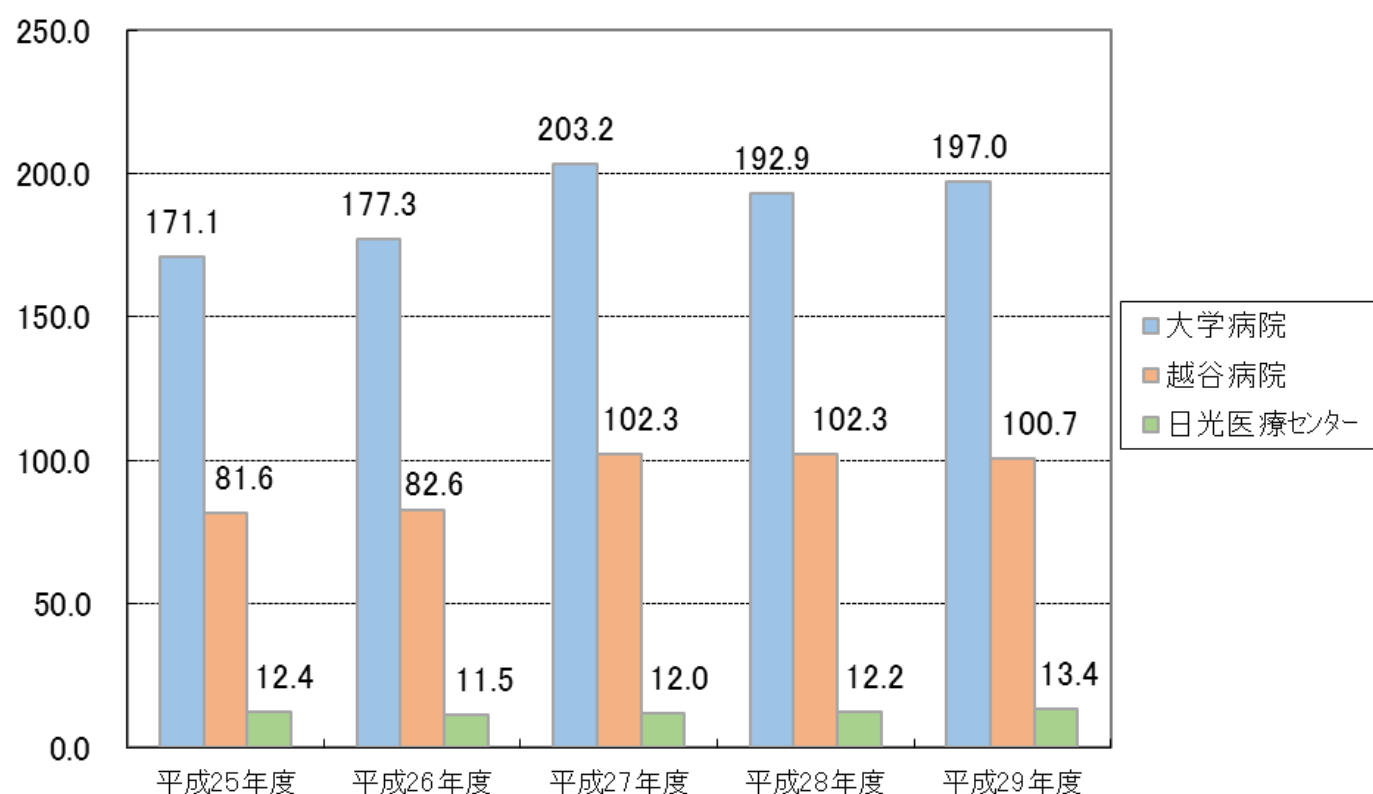
医療収入推移表

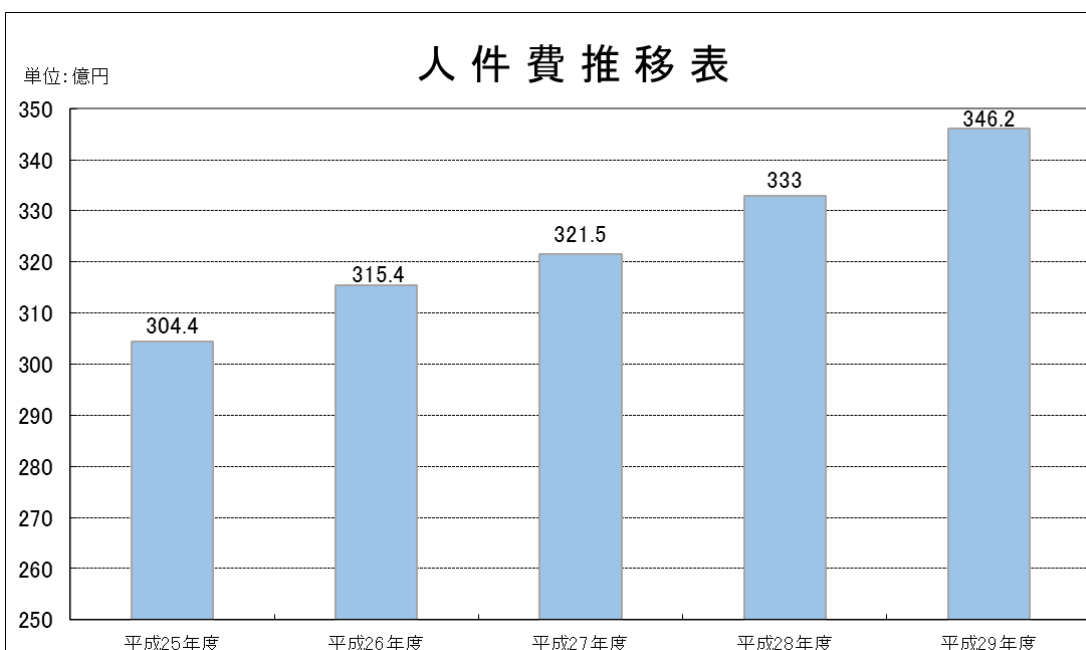
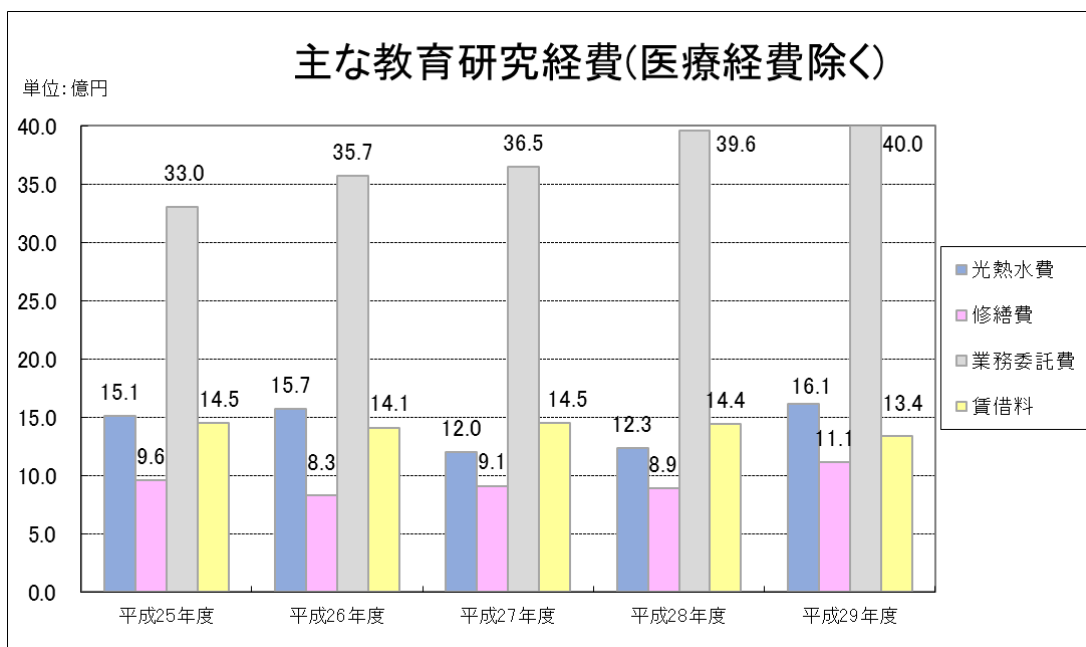
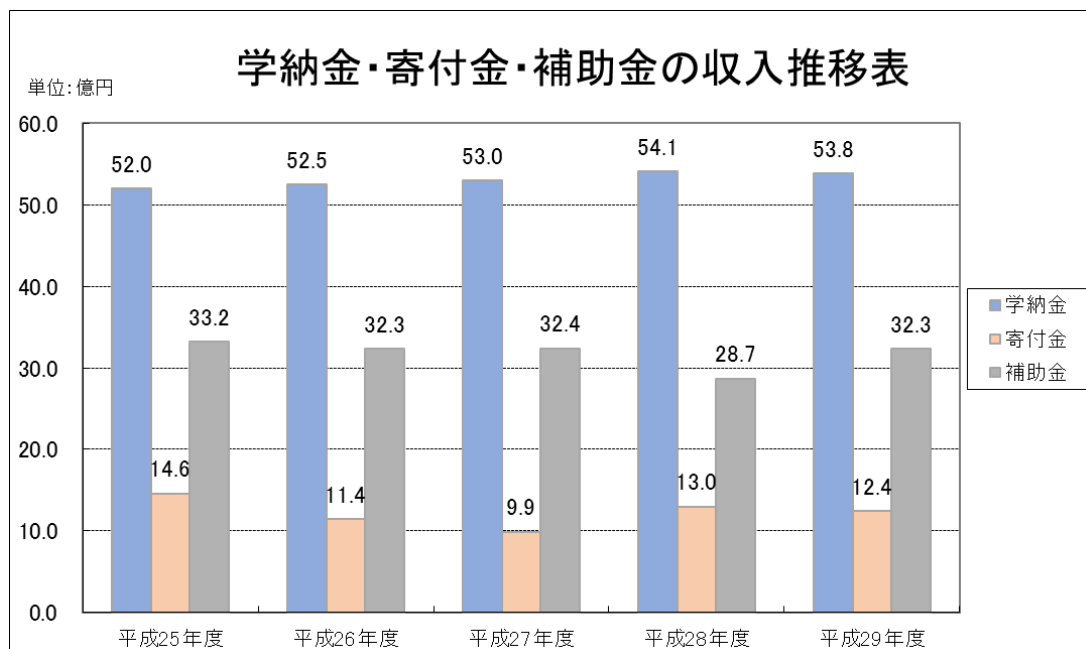
単位: 億円



医療経費推移表

単位: 億円





施設・設備関係支出推移表

単位: 億円

